

# 平成 26 年度事業報告

(自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日)

公益財団法人大学セミナーハウス

# 平成 26 年度事業報告

(自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日)

## I 法人の状況

平成 26 年度は、(1) 開館 50 周年記念事業実施の確定、(2) 宿泊研修支援事業の向上 (年間利用者 33,000 人を目指す)、(3) 主催セミナー事業の充実、(4) 留学生支援事業の展開、(5) 法人事業の強化等を基本方針として、事業活動を進めてきた。特に、開館 50 周年記念事業の準備作業を中心に展開してきた。

- (1) 50 周年記念事業では、事業計画の内容を、①食堂棟の建設、②既存施設のリニューアル、③プロジェクトアドベンチャー (PA) を活用した体験型研修プログラムの導入の 3 本に集約した。
  - ①食堂棟については建設業者と建設工事費を確定、新たな食堂運業者も確定し、建築確認の作業に入った。
  - ②既存施設のリニューアルに関しては、すべての施設の改修が必要ではあるが、資金の都合上、講堂と長期館 B の改修に絞り込むことにし、講堂の防音工事を行った。
  - ③PA に関しては、すでに一部施設の導入を図り、試験的運用に入っている。特に指導者研修の実施により、セミナーハウスの SPA ファシリテーターを確保することができた。
  - ④財源の面では、金融機関との交渉の結果、1 億 8,000 万円の借入金を確保することができた。あとは寄附金と補助金等を活用することとし、募金活動を開始したが、これまで 1,200 万円を超える募金額に留まっている。大学関係、千人会、関連企業を中心に集まってきているが、大手企業からの募金が大変難しいのが現状である。
  - ⑤なお、建築確認申請の過程で、これまで最終処理が済んでいなかった土地の所有、境界線、道路、水路等の課題が浮き彫りになり、これを残したままでは、確認申請が大変困難であることが判明、食堂棟建設を前提としつつも、これまでやり残されてきた課題をまず解決することを第一として取り組むこととした。その結果、本館下八王子市所有の土地を購入するなど、予期せぬ出費が生じている。
- (2) 宿泊支援事業では、きめ細かな利用者促進活動の結果、目標の年間宿泊者数 33,000 人には達しなかったが、32,047 人と、前年度より 396 人の増となった。特に、留学生の短期宿泊者支援プログラムの実施が大きな役割を果たした。
- (3) セミナー関係では、既存の古代史セミナー、EU セミナー、デジタルアートセミナー、教免講習等は定員を超える参加者を得、特に、教免講習は 1 回追加の年 3 回行った。また、アートビレッジのアーティストを中心とした総合アートセミナーの活動も定着したが、大学教員セミナーや映画製作セミナーは中止となった。今後、学生を中心としたセミナーの採算割れなどが課題として残った。
- (4) 留学生支援では、留学生会館の利用は定員ほぼ満員、留学生論文の募集も定着、さらに、短期留学生の宿泊に便宜を図る活動が始まり予想を超える利用者が集まっている。しかし、短期留学生の受け入れに関しては、キッチン設備を始め、宿泊環境整備が追い付かず、途中で募集を中止し、来年度環境整備をしたうえで受け入れることとした。
- (5) 法人関係の活動では、規程類の整備、LED の導入やエアコンの取り換えなど施設面での整備を図った。公益財団法人となって初めての都庁による視察が入った。なお、会費の在り方を含めた会員校へのサービス対策などの検討課題が残った。

1. 設立年月日等

昭和 37 年 3 月 31 日 設立  
平成 23 年 4 月 1 日 公益財団法人に移行

2. 定款に定める目的

当法人は、高等教育機関における学生の研学及び修練の諸活動への協力並びに高等教育機関相互の交流に努めるとともに、教育研究成果の一般への普及を図り、もってわが国の高等教育機関並びに知識基盤社会の向上発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 学生のための研修会及び講演会の開催
- (2) 大学共同のセミナーなど大学相互の理解を深める諸活動
- (3) 高等教育・研究の成果の社会への普及に関する諸活動
- (4) セミナーハウスの設置及び維持運営
- (5) 留学生宿舎の設置及び維持運営並びに留学生教育の支援
- (6) その他この法人の目的達成するために必要な事業

4. 監督機関に関する事項

東京都

5. 協力会員の状況（詳細は附属明細書 1 参照）

平成 27 年 3 月 31 日現在

区 分		当 期 末	前 期 末	増 減
協力会員	国 立	9	11	△2
	公 立	2	2	0
	私 立	28	32	△4
	大 学 校	1	1	0
	計	40	46	△6
準協力会 員	国 立	1	1	0
	公 立	0	0	0
	私 立	1	1	0
	計	2	2	0
賛助協力 会 員	法 人 団 体	5	5	0
合 計		47	53	△6

6. 主たる事務所

主たる事務所 : 東京都八王子市下柚木 1987 番 1 号

7. 役員に関する事項

(1) 理事及び監事

平成 27 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	常勤・非常勤別	勤 務 先 等 職 務
理事長	佐藤 東洋士	非常勤	桜美林学園理事長
館 長	鈴木 康司	非常勤	日仏会館評議員
専務理事	程島 俊介	常 勤	総務・財務担当
理 事	荻上 紘一	非常勤	大妻女子大学学長
理 事	鈴木 典比古	非常勤	国際教養大学学長
理 事	田中 優子	非常勤	法政大学総長
理 事	山内 進	非常勤	一橋大学前学長
理 事	佐藤 和人	非常勤	日本女子大学理事長・学長
理 事	仙波 憲一	非常勤	青山学院大学学長
理 事	小川 哲夫	非常勤	明星学苑副理事長
監 事	沖永 佳史	非常勤	帝京大学理事長・学長
監 事	郷 通子	非常勤	情報・システム研究機構理事

(2) 評議員

平成 27 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	常勤・非常勤別	勤 務 先 等 職 務
評議員 議 長	佐野 博敏	非常勤	大妻女子大学名誉学長
評議員	鷲山 恭彦	非常勤	東京学芸大学名誉教授
評議員	篠田 節子	非常勤	作家
評議員	小儀 明	非常勤	東京都議会議員
評議員	福田 一郎	非常勤	東京女子大学名誉教授
評議員	川島 堅二	非常勤	恵泉女学園大学学長
評議員	村田 雄二郎	非常勤	東京大学教授
評議員	小畑 秀文	非常勤	国立高等専門学校機構理事長
評議員	山本 眞一	非常勤	桜美林大学教授
評議員	上野 淳	非常勤	首都大学東京学長
評議員	大井 孝	非常勤	国際教育振興会理事長
評議員	高石 道明	非常勤	信州大学元教授
評議員	福井 憲彦	非常勤	学習院大学元学長
評議員	安西 祐一郎	非常勤	日本学術振興会理事長
評議員	福宮 賢一	非常勤	明治大学学長
評議員	石森 孝志	非常勤	八王子市長

(3) 運営幹事校に関する事項（詳細は附属明細書 2 参照）

8. 職員に関する事項

平成 27 年 3 月 31 日現在

職 員 数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数		
職 員	男	1 名	0	60 歳	33 年	
	女	—	—	—	—	
嘱託	常勤	男	2 名	0	67 歳	6.5 年
		女	8 名	4	54 歳	7.7 年
	非常勤	男	5 名	0	65 歳	5.7 年
		女	1 名	0	37 歳	0.9 年
非常勤職員		男	1 名	0	64 歳	1 年
		女	3 名	△2	45 歳	3.4 年
合計又は平均		21 名	2	56 歳	8.2 年	

9. 許認可に関する事項

なし。

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 宿泊事業

◆年間の宿泊利用者数 32,047人

平成 26 年度の宿泊利用者数は 32,047 人で、前年度が 31,651 人でしたので、396 人の増加でした。

上期は、20,343 人（前年 18,694 人、前年比 108.8%）と、1,649 人の増加となりました。主な要因は留学生短期滞在応援プランの実施、社会人研修の受注に因るものです。

下期は、11,704 人（前年 12,957 人、前年比 90.3%）と、1,253 人の減少となりました。主な要因は、会員校の大幅な減少です。

年間では前年比で会員校 95.8%、一般校 101.6%、社会人 125.6% になりました。

27 年度は会員校の利用減少に歯止めをかける方策が必要になります。

\*主催セミナーは会員校を含む

宿泊施設の利用状況

年度	平成 26 年度		平成 25 年度		平成 24 年度	
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比
会 員 校	17,915	55.9%	19,142	60.5%	16,566	52.3%
一 般 校	7,778	24.3%	7,654	24.2%	7,495	23.7%
社 会 人	5,390	16.8%	4,290	13.6%	5,329	16.8%
主催セミナー	964	3.0%	565	1.8%	806	2.5%
合 計	32,047	100.0%	31,651	100.0%	30,196	95.4%
収容定員	279人		279人		279人	
年間稼働日数	360日		360日		360日	
年間収容定員	100,440人		100,440人		100,440人	
年間稼働率	31.90%		30.50%		30.10%	

(2) セミナー事業（詳細は附属明細書2参照）

①主催セミナー

主催セミナー全体の参加者は705名（昨年度は480名）。今年度、教員免許状更新講習は3回（昨年度は2回）開催し、定員を超える参加者があった。

対象	セミナーの名称	開催日	主題	参加者 (定員)
学生	第3回 EUセミナー	9月19日～ 9月21日	新段階を迎えるEU ——銀行同盟、欧州デモクラシー、安全保障——	71名 (70名)
	第3回 デジタルアート セミナー	10月11日～ 10月12日	openFrameworks で学ぶクリエイティブ・コーディング	92名 (50名)
	第41回 国際学生セミナー (中嶋嶺雄先生追悼セミナー)	11月22日～ 11月23日	アジア・太平洋の歴史と未来 ——国際関係論と地域研究の視点から——	87名 (40名)
教職員	第30回 大学職員セミナー	7月11日～ 7月12日	大学職員の可能性——大学改革を牽引する職員を目指してI——	40名 (40名)
	第4回 新任教員研修セミナー	9月1日～ 9月3日	——	34名 (40名)
	第31回 大学職員セミナー	11月28日～ 11月29日	大学職員の可能性——大学改革を牽引する職員を目指してII——	32名 (40名)
その他	第9回 教員免許状更新講習	8月2日～ 8月5日	——	70名 (70名)
	第1回 映画制作セミナー	8月12日～ 8月13日 (中止)	この夏、君も映画カントクだ！ 夏休み親子参加プログラム 「つくって学ぶ映画のひみつ」	申込者2名 (40名)
	第11回 古代史セミナー	11月8日～ 11月9日	日本古代史・新考 ——自由自在（その7）——	108名 (60名)
	第10回 教員免許状更新講習	12月24日～ 12月27日	——	90名 (70名)
	第11回 教員免許状更新講習	1月21日～ 1月24日	——	81名 (70名)

## ②総合アートセミナー

「アートサミット」「つむぎねワークショップ」など計9件のセミナー・イベントを開催し、宿泊64名、日帰り93名の計157名（うち大学関係者は74名）の参加があった。

また、「大学セミナーハウス50周年記念タペストリー」、「樹木マップ」、「アートコミュニケーション」など9件の作品が制作・提供された。

## ③SPA活動

SPAのロープスコースを利用する際の概要をまとめたマニュアルであるLOP（Local Operating Procedure）を作成し、9月からSPAコースの利用を開始した。SPAファシリテータ養成講習会を3回開催し、指導者の養成と即戦力となる登録ファシリテータの確保を行った。また、大学の教職員や学生への広報のためにSPAプログラムの体験会を3回開催した。

## （3）留学生支援事業

### ①留学生会館事業（詳細は附属明細書3参照）

留学生に日本の自然を満喫し安心して充実した留学生生活を過ごしてもらえるよう、勉学や生活のサポートをしながら、快適で良質な宿舎を提供した。

平成27年3月31日現在の入居者数は、22名（昨年度は25名）。

### ②留学生論文の表彰に関する事業（詳細は附属明細書4参照）

## （4）土地貸与事業

### ①土地及び建物等の貸与に関する事業

当法人の敷地及び建物の一部（交友館煙突）を一般企業に貸与している。一般企業はこの土地を資材置場等に、また、煙突は携帯電話の無線中継基地として利用している。

区分	利用者	利用面積等	利用目的
土地	宮川石材(株)	675 m <sup>2</sup>	資材置き場
土地	豊岡誠	12 m <sup>2</sup>	駐車場
土地	(福法) ゆずの木	0.5 m <sup>2</sup>	看板の設置
建物	ソフトバンクモバイル(株)	煙突	携帯電話の無線中継基地

### ②施設利用者の利便に関する事業

当施設をご利用いただく方々のために、アイスクリーム、絵葉書、ひげそり、歯ブラシ等の商品の販売、飲料や軽食の提供に伴い自動販売機設置手数料を得ている。

## 2. 重要な契約に関する事項

### 資産の取得

資産の名称	取得金額	備考
建物附属設備		
記念館(A・B棟客室) 空調機	8,220,240円	A棟客室 11式 B棟客室 12式
図書館 空調機	829,080円	
講堂 防音工事	9,666,000円	風除室取設 窓枠・カーテンの取設
合計	18,715,320円	

## 3. 役員会等に関する事項

### (1) 評議員会

評議員会の区分等	開催月日	審議事項
第6回定時評議員会	平成26年6月20日	1 平成25年度事業報告について 2 平成25年度決算について 3 理事の欠員補充について
第7回定時評議員会 (決議の省略)	平成26年11月17日	1 基本財産の一部除外の件

### (2) 理事会

理事会の区分等	開催年月日	審議事項
第13回理事会	平成26年5月20日	1 平成25年度事業報告について 2 平成25年度決算報告について 3 食堂委託業者の選定について 4 評議委員会の議案の追加
第14回理事会	平成26年11月4日	1 開館50周年記念事業資金計画について 2 評議員の開催日について 3 平成27年度事業計画(骨子)について
第15回理事会	平成27年3月11日	1 土地の取得について 2 平成27年度事業計画について 3 平成27年度収支予算等について 4 公益財団法人大学セミナーハウス事務 組織規程の一部改正について 5 第8回評議員会の開催日程について



#### 4. 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：円)

区 分	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
経常収益合計	222,758,656,	225,953,739	230,930,159	230,239,228
経常費用合計	215,318,060	220,543,244	217,197,868	227,079,975
当期正味財産増減額	7,440,596	5,410,495	13,732,291	3,159,263
資産合計	1,194,282,194	1,173,863,924	1,178,195,282	1,175,000,296
負債合計	299,785,572	272,911,836	256,269,460	247,410,212
正味資産	894,496,622	900,952,088	921,925,822	927,590,084

#### 5. 無償の役務の提供状況

##### ① 環境ボランティア

環境ボランティアは、月 2 回施設内の樹木の下刈り、蔦等のつる切、枯れた樹木の伐採等を行っている。

##### ② 園芸ボランティア

さくら館の中庭花壇の整備を行っている。

### III 法人の課題

今年度の事業計画において、法人の課題として挙げた「50周年記念事業への取り組み」「財源の確保」「スタッフの充実」「経営基盤の充実」について、及び、今年度の活動を通して、新たに浮かび上がってきている課題について検証した。

1. 50周年記念事業, 食堂棟新築工事に関する建築確認申請手続きに於いて計画遅れが生じているが、今後、八王子市役所よりの指摘事項を確実に処理していく。
2. 既存施設のリニューアルについては、中長期(3年~5年)に優先順位を明確にして対応していく。
3. 会員機関が減少傾向にある現状を踏まえ、継続的に会員機関等に法人の状況、商品内容等を告知していく。
4. 経緯基盤の確立に向け、33,000人の宿泊利用者目標を達成するために増加対策を確実に実行していく。
5. 上記を達成するため、役員、職員、非常勤職員全員が、事業計画を理解し、コミュニケーションを図り目標達成に向けて業務を遂行する。

### IV 理事の職務遂行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

平成 25 年 11 月の理事会において、評議員会運営規程及び理事会運営規程を定め、評議員会及び理事会の運営を遅滞なく開催するようにした。

### V 株式保有している場合の概要

該当なし。

### VI 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

特になし。